

様式

意見提出者

所属（会社名・団体名等）（※1）	一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会
氏名（※2）	会長 近藤邦昭
住所（※2）	東京都港区虎ノ門 1-21-19 東急虎ノ門ビル
連絡先	

※1 個人の場合は「個人」とご記入ください。

※2 法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地をご記入ください。

提案提出フォーマット

検討項目への該当（※3）	
<input checked="" type="checkbox"/> (1)「新たな日常」におけるインターネット利用とその依存度の変化 <input type="checkbox"/> (2)通信事業者等のインターネットトラヒックへの対応状況 <input checked="" type="checkbox"/> (3)利用者側のインターネット接続環境 <input type="checkbox"/> (4)インターネットトラヒックの首都圏一極集中の状況 <input type="checkbox"/> その他	
各検討項目に関する諸課題	それに対して考えられる具体的な対策等の提案
<p>コロナ感染症の問題によってテレワークの勤務形態が急速に普及しました。昨今はオフィスの位置に依拠しない地方での勤務や旅行先での勤務など、更に柔軟な働き方が進んでいます。これらの働き方はコロナ感染症対策だけでなく、都市と地方の人口偏在問題や、子育てや介護など一定の制限を受ける人々が柔軟に勤務できるなど多くのメリットがあります。国民の生活の充実を図り、よりよい社会参加を実現する社会システムとしてより強力で普及促進されるべきものと考えます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> FTTHサービスのエリアの拡大。光ファイバやそれを用いたFTTHサービスが固定電話や電気、水道と同様に、住む場所に依らず利用できる環境が必要。地方のFTTHサービスの整備における不採算性の問題は、国内のインターネット利用者によって相互に支え合うユニバーサルサービスのようなコスト補填の仕組みの検討。 光ファイバやFTTHサービスの料金の更なる低廉化。 FTTHサービス輻輳問題への継続

これら働き方の変革・進展を支えているのは、ビデオ会議システムやクラウドPBXをはじめとしたユニファイド通信(UC)サービスとそれを支える良好なブロードバンド環境の存在です。これらのUCサービスは電話網をはじめとした種々のネットワーク・サービスを組み合わせ実現されていますが、インターネット回線も多くケースで利用されます。すなわち、テレワークなど新しい社会を円滑に推進・維持するにはUCサービスの発展だけでなく、インターネットの良好で且つ安定的な通信環境が必要です。日本のブロードバンド基盤は総務省殿のこれまでの政策によって高度に発展してきましたが、昨今のトラフィック増大に必ずしも追従できておらず、通信品質の低下が発生しています。品質(通信速度・遅延・安定性等)の一層の改善が必要であると考えます。

また、社会の状況や今後の働き方の変革を推進するために都市と同等のFTTHサービスがあまねく全国において整備されること必要です。いまだに地方ではFTTHサービスが利用できないエリアがあります。もし地方のブロードバンド環境が都市部に劣後する場合、地方への移住・もしくは地方からの社会参加はデメリットとなるため、働き方の進展や多様化は進まないため、これらの対策が急務です。

これらの課題のため、当協会からは

的な取り組み。品質計測による見える化と設備の積極的な増設による輻輳の解消。

4. FTTHサービスの契約期間の長期化の改善
5. トラフィックの域内流通の推進。例えば、北海道の利用者が北海道の企業(勤務先)にアクセスする場合にも東京経由でルーティングされ遅延が大きくなる問題があるように、トラフィックの域内流通の推進が必要。
6. 地域の企業や中小企業など多様な事業者が参入できるよう、通信産業における競争環境の実現。

<p>以下のとおり議論していただきたいと考えます。</p> <p>(1)ブロードバンド環境の改善</p> <p>(2)都市・地方における同等のブロードバンド環境の実現</p>	
---	--

※3 以下のうち、該当するものにチェックしてください（複数選択可）。なお、ご提案いただいた内容の集計に当たり、分類を調整させていただく場合がありますので、あらかじめ御了承ください。